

ネットバンクはまだこれから

今回は、イー・ウーマンリーダーズが金融機関をどのように選び、また利用しているのか、その意識や実態をさぐってみた。

金融機関を使い分け

まず、ワーキングウーマンの金融機関の使い分けについて、日常のお財布替わりとして利用している金融機関と、貯蓄・投資用に利用している金融機関について、聞いてみた。お給料の振込み、おこづかいの引き出し、クレジットカードの引き落としなど日ごろ必要なお金の出し入れを行っている金融機関は、都市銀行が58.3%でトップとなった(グラフ1)。一方、貯蓄・投資用の金融機関としては、都市銀行がトップ(61.6%)ではあるが、ついで、郵便局が52.1%(グラフ2)。また、証券会社も21.8%と女性の間にも、利用が広がりつつあることがわかる。近年、都市銀行が顧客囲い込みシステムを投入している。が、利用者のこのような金融機関の使い分け状況をみると、まだまだひとつ金融機関に絞り込めず、いろいろな状況が浮かび上がってくる。どの銀行も横並びのサービスや預資金利。その上に、顧客囲い込みのためのポイントシステムも、既婚男性サラリーマンを対象としたシステムが多く、女性からみて、その金融機関にロイヤリティをもてるようなものや、魅力的な仕組みが存在しないからではないか!?

メインバンクとなる決め手は、ユビキタス?

今もそのような状況であるため、「あなたが、メインとなる金融機関をお選びになるときに重視するポイントは?」という問い合わせに対しては、金利やサービスではなく、現金支払機や支店、窓口が近くにあることが重視されている(グラフ3)。コンビニや郵便局との提携を重視するというポイントも含めると、この設問の全ポイントの5割強を占める。いつでもどこでも思いたった時に金融機関を利用したいという「ユビキタス」志向が幅をきかせていることになる。旧態以前とした横並びの金融サービスではなく、それぐらいしか決め手がないということかもしれない。ただ、昨今の不良債権問題、銀行の自己資本率の低下の問題などをうけて、「経営状態が健全」であることが38.4%とやや高いポイントとなっている。

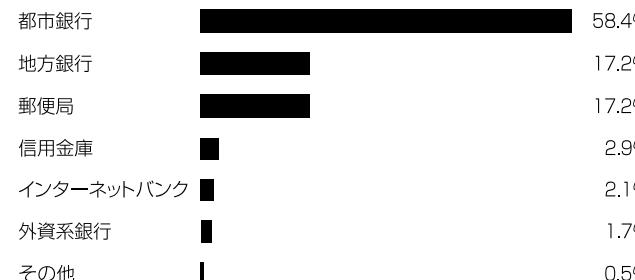
インターネットバンクは楽しみの延長

銀行のオンラインサービスについては、利用派4割(「たいへんよく利用している」(16.4%) + 「ときどき利用している」(24.9%) = 41.3%)に対して、非利用派6割(「あまり利用していない」+「まったく利用していない」(42.8%) = 58.7%)という状況となった。また、従来のような店舗や窓口をもたないインターネットバンクの口座をもっているかどうかという質問については、保有率は、42.8%となった。インターネットバンクの口座をもつきっかけを探ったところ、「オーケションの利用」を上げる人が多く、従来の銀行の機能に不満というよりは、新たな楽しみや趣味の広がりのために、口座開設に至ったという人が多い。「24時間使って便利」「手数料や振込み料金が安い」ことは、その結果から付随してきたメリットとして受け止められている。

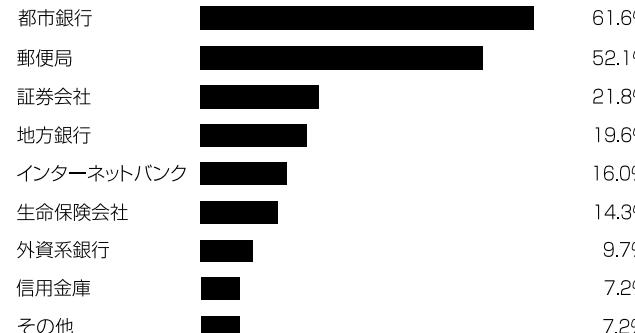
一方、インターネットバンク口座をもたない人たちに、その理由をさぐってみると、「都市銀行のオンラインサービスを利用しているため、必要性を感じない」「魅力を感じない」という答えや、「セキュリティ面でまだ不安が残る」という意見が多い。また、「個人経営の屋号での口座開設が拒否された」「外国に住んでいるという理由で、口座開設できなかった」という声もあり、本当に不便を感じている人、必要としている人がまだまだ利用できない状態でいるという金融ネット事情も浮かび上がってきた。

イー・ウーマン調査「金融機関について」
<http://www.ewoman.co.jp/>

● 現在、あなたが日ごろお財布がわりにお使いになっている金融機関は? <グラフ1>



● 現在、あなたがご利用の貯蓄・投資等のために使いになっている金融機関は? <グラフ2>



● インターネットバンキングシステム(オンラインシステム)を利用していますか? <グラフ4>

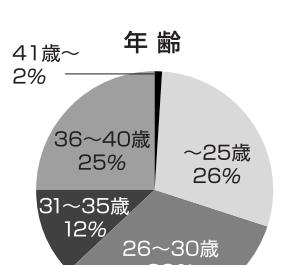


● インターネットバンクに口座はお持ちですか? <グラフ5>

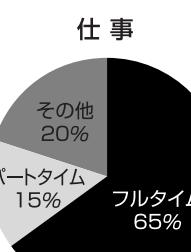


LEADERS DATA

年齢



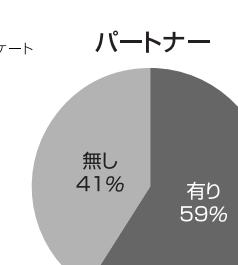
<表4>



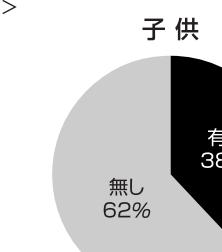
<表4>

調査概要
調査実施: 2002年10月24日~10月27日
調査方法: インターネットによる自記入式アンケート
対象: イー・ウーマンリーダーズ
有効回答者数: 586名

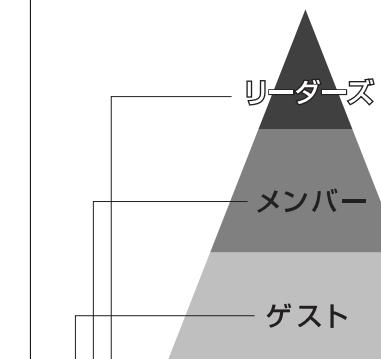
パートナー



<表5>

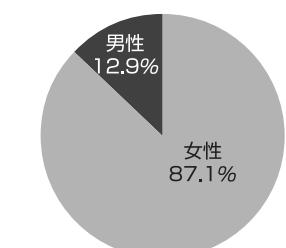


ユーザーの構成



- イー・ウーマンサイトにて、自ら個人情報を提供し、積極的に商品開発、サイト展開にかかわりたいと考えている人達。
- イー・ウーマンサイトにて、メールアドレスとニックネームを登録。書き込みもできる人達。
- イー・ウーマンを見に来る人たち

登録ユーザーの男女比



登録ユーザーの年代

